

学校のように 中島村に学校ができたのは、今から百二十年前です。その間、

学校のくらしも大きくかわりました。授業の合図には、拍子木やかねなど

を使いました。明治・大正・昭和の初めごろの小学生の服そうは、着物にわ

らぞうりがふつうで、ぼうしはかぶり

ませんでした。雪の日は、わらであんだ長ぐつをはいている人もありました。

学習の姿勢や、ことばづかい、集団行動は特にきびしかったそうです。

